

若手職員座談会【消防職】

皆様、こんにちは。

本日は、相模原市職員採用試験（高校卒業程度）に合格して、消防職として働いている職員にお話を聞いてみたいと思います。よろしくお願ひします。まず、現在の所属と自分の仕事について紹介してください。

消防局の北消防署 警備課本署で

- ・火災・救助・救急などの現場活動
- ・立入検査などの火災予防事務
- ・消防水利の維持管理状況の調査 などを行っています。

消防の仕事については、

市ホームページ「職員採用案内」の職種別紹介もぜひご覧ください！
それでは、高校生だった頃はどのようなことをしていましたか。

学生時代のほとんどを高校野球に費やしていましたが、
東日本大震災に被災し、災害ボランティア活動にも従事しました。

東日本大震災の直後、自分たちも大変な生活をしている中で、
避難所や地域において中学生・高校生が
大きな役割を担ったことがニュースにもなりました。

公務員（消防士）になろうと思ったきっかけや、
たくさんの団体の中から相模原市を選んだ理由を教えてください。

公務員になろうと思ったきっかけは、姉が公務員（県職員）だったことと、
東日本大震災に被災した経験から、何か人のためになりたいと強く思うようになり、より市民の方々との距離が近い消防士を目指しました。
相模原市を選んだ理由は、様々な縁でこちらの小学生に野球を教える機会があり、そこで出会った方々に応援していただいたからです。

これから採用試験を受けようと考えている皆さんも関心があることかと思いますが、採用試験に合格するためにどのような準備、対策をしましたか。

試験の対策については、自信のある科目と教養試験を重点的に勉強しました。相模原市の試験は一次試験に集団面接があったので、そこでいかに自分の存在を面接官の脳裏に焼き付けられるか、ということを考えていました。

相模原市の採用試験は、人物的評価を重視しているので、面接（集団・個別）対策も重要ですね。これまで実際に働いて感じたこと、これから取り組みたいことなども聞かせてください。

私は採用から6年の間で、炎天下の中の炎上火災や台風の中24時間活動するなど、様々な災害現場で活動してきました。また、火災予防に係る立入検査などの事務を主担当として処理することもありました。それらを行っていく中で、市民の方から感謝の言葉をいただくことがあり、すごく励みになります。今後は現場活動に関するだけでなく、予算や人事に係る部署や他の機関に派遣されるような職員になりたいです。

ありがとうございます。
最後に、「公務員を目指す後輩に伝えたいこと」をお願いします。

試験の不安や採用後の不安など、今はすごく苦しい時期だと思います。また、消防職員を目指している方は、体力的、精神的についていけるかななどの不安もあると思います。でも、君たちが目指している職業はそれだけ責任とやりがいがあるということです。がんばってください。